

DAIMLER TRUCK

Asia



三菱ふそうトラック・バス株式会社
〒211-8522
神奈川県川崎市中原区大倉町 10 番地
電話 044 330 7700

Daimler India Commercial Vehicles Pvt. Ltd.,
SIPCOT Industrial Growth Centre,
Oragadam, Mathur Post,
Sriperumbudur Taluk,
Kancheepuram District,
Tamil Nadu - 602105
Tel: +91 44 49694000

2023 年 7 月

会社案内

ダイムラー・トラック・アジアへようこそ



カール・デッペン
代表取締役社長
最高経営責任者（CEO）

ダイムラー・トラック・アジアはダイムラートラック AG の一部であり、商用車のグローバルリーダーです。アジアを拠点に、三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC) とダイムラー・インド・コマーシャル・ビークルズ (DICV) の 2 つの事業体から構成されています。

私たちのビジョンは明確です。人と地球のより良い生活を包含するモビリティ・ソリューションを開発することです。豊かな歴史に根ざし、革新を続ける私たちのブランド、FUSO とパーラト・ベンツは、最先端の技術と比類ない品質を誇り、世界 170 以上の市場でお客様をサポートしています。

ダイムラー・トラック・アジアでは、社員が最大の資産です。50 カ国以上から集まった多彩なチームは、私たちの成功の礎となっています。この多様性が私たちの強みであり、世界中のお客様に付加価値を提供するために、私たちはひとつのグローバルチームとして働き、世界を動かし続けるという共通の目的によってモチベーションを高めています。

日本の MFTBC で我々のトラックやバスは、効率性、安全性、快適性が高いことで知られています。環境に優しい未来と eMobility を強く提唱する MFTBC は、量産型電気トラックとしては日本国内初の eCanter を 2017 年に発売し、その後 2023 年には新型 eCanter を発売しました。eCanter は、すでに日本やヨーロッパなど、何百ものお客様のフリートから排出される CO2 の削減に寄与しています。

インドでは、2012 年にパーラト・ベンツブランドを立ち上げて以来、業界における強力な競争相手として確固たる地位を築いてきました。今後は、ダイムラートラックが世界中で展開する輸出、サービス、研究開発、IT のハブとして、インドの戦略的潜在力を活用できることが期待されます。

私たちは、これからもグローバルなひとつのチームとして、業界をリードする持続可能なモビリティ・ソリューションとサービスをお客様にお届けしていきます。

カール・デッペン



松永 和夫
MFTBC 代表取締役会長

私は企業が世界で競争力を保つためには、国際市場に乗り出すのみでなく、グローバルな人材を積極的に活用していくことが重要であると確信しています。

ダイムラー・トラック・アジア (DTA) は、高い評価と伝統を持つ日本の三菱ふそうトラック・バス株式会社と、インドのダイムラー・インド・コマーシャル・ビークルズの協業組織です。国籍や文化の壁を越えひとつとなったグローバル組織の素晴らしいモデルが私たち DTA です。

多様な文化を背景に持つこの組織は、才能とやる気に溢れた社員がひとつのチームとして共に働くことで優れたアイデアや製品を生み出しており、このユニークな企業文化が私たち DTA の強みとなっています。このようにして最高の製品やソリューションを世界中のお客様に提供しています。

人材は企業の中核を成し、その企業は社会に貢献していかなければなりません。トラックやバスなどの商用車は特に、世界中で物資や人を輸送する手段として社会を支える中心的な役割が求められています。DTA は、利益を追求するのみでなく、組織として成長し経済面、社会面、環境面で持続的に社会に貢献していくことを目指します。

私たちは、車両のみならず、バリューチェーン全体を 2039 年までに脱炭素化することを目指しています。温室効果ガスと騒音を抑制する環境に優しい電気小型トラック「eCanter」で、eMobility の先駆者として物流業界の脱炭素化を支援しています。またインドのチェンナイと川崎の工場では、太陽光パネルを導入し発電を行い、雨水の排水を再利用するなど、持続可能な未来を目指して環境への取り組みを進めています。

「人と地球に、より良い生活と環境を実現するモビリティ・ソリューションを提供します」——これが私たち DTA のビジョンです。DTA の素晴らしい世界へ皆様をご案内します。ぜひご覧ください。

松永 和夫



ふたつの組織によるひとつの商用車ポートフォリオ

ダイムラー・トラック・アジア (DTA) は、三菱ふそうトラック・バス株式会社 (MFTBC) とダイムラー・インド・コマーシャル・ビークルズ (DICV) の2社が構成する戦略組織です。両社の強みを活かし研究開発から調達、生産、輸出、販売・マーケティングに至るまで幅広い分野で協業し、お客様にとって価値の高い製品を提供します。

90年以上の歴史を持つ三菱ふそうトラック・バス株式会社 (MFTBC) と成長著しいインドで新興した DICV は、ダイムラートラック社の重要な子会社です。2社を合わせた販売台数はダイムラートラック社の販売総数の約3分の1を占めています。私たちは両社の強みを活かした DTA という組織を形成し、世界の商用車需要やお客様の多様なニーズに応えています。

DTA の製品ラインアップは、FUSO ブランドの日本・海外成熟市場向けモデルおよび海外成長市場向けモデル、そしてインド市場向けのパーラト・ベンツブランドのモデルで構成されています。

共通戦略を掲げて2社が協業する組織の利点は、こうした技術的な側面だけでなく、人財の多様性にも及びます。さまざまな能力を持つ人財の交流を図り互いに学びながら協力し合うことで、文化融合が深化、また多様性を生み出すことができます。

DTA は神奈川県川崎市とインド・オラガダムに生産拠点を置いています。またインド・バンガロールにソフトウェア研究開発センター、栃木県の喜連川に MFTBC のテストコース、そしてインド・チェンナイに DICV のエンジニアリング拠点を置いており、DTA としてこれらの施設を有効活用しています。

両社が DTA として協業することで様々なメリットを享受できます。サプライヤー網を効率的に構築・管理し高品質な部品を低価格で調達、またコスト競争力のある製品を開発・生産するなどして事業を拡大しています。

	三菱ふそうトラック・バス株式会社	ダイムラー・インド・コマーシャル・ビークルズ
主要拠点	〒211-8522 神奈川県川崎市中原区大倉町10番地	SIPCOT Industrial Growth Centre, Oragadam, Mathur Post, Sriperumbudur Taluk, Kancheepuram District, Tamil Nadu - 602105
役員	代表取締役社長 最高経営責任者 (CEO) カール・デッペン MFTBC代表取締役会長 松永 和夫	マネージング・ダイレクター 兼 DICV CEO サティアヤカム・アーリヤ
従業員数	約1万人	約4千人
事業内容	トラック・バス、産業エンジンなどの開発、設計、製造、売買、輸出入、その他取引業	トラック、バス、シャシー、エンジン、トランスミッションの製造



電気トラックのパイオニア、eCANTER
三菱ふそうは、2017 年に国内で初めて量産型電気トラック（EV トラック）として eCANTER を発表しました。電気トラックのパイオニアとして、走行中に CO2 や排出ガスを出さない、ゼロ・エミッション輸送を実現。脱炭素（カーボンニュートラル）化とともに、持続可能な社会づくりに貢献できるため、世界中に次々と活躍の場を広げています。

世界が求めるエコ輸送を今すぐに
三菱ふそうがつくるトラックやバスは、人々の生活を支え身近なところで活躍しています。そうした中で、私たちが EV トラックにいち早く挑戦した理由、それは環境によりよい製品を求める世界のニーズに応え、新しい価値をすぐに届けたいと思ったからでした。時代をリードする eCANTER をお使いいただくことは、お客様のビジネスに役立つだけでなく、より広い視野で未来を変える社会貢献につながります。

電気トラック eCANTER にできること
従来の内燃機関（エンジン）に代わり、バッテリー電力を使った電動機（モーター）で走る eCANTER は、地球温暖化の抑制、大気汚染、騒音などの課題解決が図れるため、未来の都市内配送や近距離輸送を担う重要なカギとなります。

世界で活躍を広げる eCANTER、信頼性も実証

2017 年に初代モデルを発売後、MFTBC は 2020 年 8 月に安全装備を充実させた改良モデルを発表しました。2022 年 9 月、MFTBC はフルモデルチェンジした新型を発表しました。eCANTER は発売以来、日本、欧州、米国、オーストラリア、ニュージーランドのお客様にご愛用いただいています。新モデルは、さらに多くの海外市場で展開する予定です。

「電気で運ぶ」が、
人、社会、未来に、新しい価値を





DTA は、多国籍間輸送ソリューションのプロバイダーとして世界 **170 ヶ国以上**の経済成長を支えています。その DTA の事業の成功を支えているのが**約 1 万 4 千人のグローバル社員**です。DTA は、日本の MFTBC とインドの DICV をはじめ、オーストラリア、南アフリカなど世界各国に拠点を広げています。商用車業界における車両の電動化、コネクティビティの導入、デジタル化といった革新的な動きをリードする DTA の職場環境は、他では経験できない素晴らしいものです。社員のワーク・ライフ・バランスも重視し、キャリアアップも目指せるサポートも充実しています。

社風

ーオープンで互いを認め合い協力し合える職場環境ー
DTA という組織の中核を担うのは、製品であり、プロセスであり、そして何といってもそこで働いている

人々です。DTA はオープンで互いに協力し合うことができ、日々の発見に満ちた職場環境です。常に仕事の成果が重視されると同時に、社員のワーク・ライフ・バランスが保てる環境です。
DTA では約 50 か国・地域の人々が働いており、事業の課題に対して異なる視点や案を持ち寄り、解決に取り組んでいます。社員一人ひとりが既存の概念に疑問を投げかけ、視野を広げ、解決方法を生み出す自由な環境が、事業の成長を支えています。DTA では社員の幸福度が高い人ほど仕事の生産性が高いと考え、柔軟な働き方を提供しています。自主性に満ちた仕事の進め方や、社員のプライベートの時間も尊重します。事業の成功のためだけでなく、自分自身の目標を達成するためにも、高いレベルで学び、成長する機会がここにあります。

イノベーション

ー業界をリードするー
現在 DTA は、車両の電動化、コネクティビティ、自動運転、デジタル化などに積極的に取り組んでおり、商用車業界の先駆的存在となっています。自動車メーカーとして電気トラックシリーズを発売し、またコネクティビティとデジタル化を採用した製品を生み出すなど、これまでの常識に常に挑戦し続け、業界に新しい風を吹き込んでいます。自らのスキルと知識をさらに磨きたい方、創造性と自主性を活かせる環境で働きたい方にとって、DTA は最高の職場と言えるでしょう。

機会

DTA は真にグローバルな組織です。世界中の人々と仕事をし、オフィス内だけでなく、新しいポジションや異動への移動の機会も得られます。自分のキャリアを伸ばし、従来の国境

を越えた視野を広げてください。世界各地のオフィスでは、大きな多様性を見つけることができます。DTA では、社員が他国の同僚と一緒に仕事をすることで異文化体験をすることができ、それがキャリアの成長にもつながると考えています。これにより、私たちはより親密になり、世界中のマーケットにおける知識と能力を高め、お客様、社員、製品のためのより良いソリューションの創造に貢献することができるのです。

DTAで働くひとたち — グローバルに考えローカルで働く

企業の成功には社員のモチベーションと効率良い働きが欠かせません。

DTA には熱意に溢れ、誠実で規律正しい人たちが集まり、ひとりひとりがプロ意識を持ってさまざまな形で働いています。この集合体が企業のカラーを形成していると言えます。



ブランド

お客様のために信頼性の高い製品を世界に

DTA には強力な製品ブランドがあります。
魅力的なブランドと革新的技術で世界中のお客様の声に応えます。



 **FUSO**

FUSO

信頼される高品質とすぐれた経済効率性、機能的なデザイン、価値あるサービスで愛される、**三菱ふそうブランド**。

様々な革新技術と、省燃費などのトータルコスト削減によるお客様満足度の追求によって、世界中の国々で、日本の代表的なブランドとして認知されています。

製品開発はダイムラーの開発管理プロセス CVDS (Commercial Vehicle Development System) に基づいて行っており、製品の完成度と品質を確かなものにしています。お客様が最新技術の恩恵を受けることができるよう努めています。

TOS (Truck Operating System) は世界のダイムラートラック工場が最高の成果と持続的改善を行うために使うシステムです。このシステムで製品の安全性、品質、コストと従業員のモラルを維持することが出来ます。FUSO の工場はダイムラートラックの中でも常に高い効率性を誇っています。

喜連川研究所は日本のみならずダイムラートラック社の中でも最大規模の研究・開発拠点です。厳しい標準に基づき行う研究・開発で FUSO 製品の品質を確保しています。

FUSO





インドは 2000 年代初頭に著しい経済発展を遂げ、同時に近代的な道路の建設が盛んになり、輸送業界においても大変革を迎えました。商用車のグローバルリーダーであるダイムラー社は、「インドの商用車業界を変革する」というビジョンのもと、2012 年インドにパーラト・ベンツブランドを導入しました。パーラト・ベンツは、インドの価値観、イデオロギー、精神と、ダイムラーが何世代にもわたり世界で牽引してきた自動車産業、発明、革新、エンジニアリング力の結晶です。このような背景のもと、パーラト・ベンツは、インドの経済発展に伴うモビリティ・ソリューションを提供することで、お客様の事業に不可欠な存在であり続けることを約束します。また市場のニーズに常に応えることができるよう、新たな価値を提供し続けます。

製品とサービス

パーラト・ベンツの製品群は、車両総重量 10t から連結車両総重量 55t までのトラックとバスを提供し、お客様の事業を幅広くサポートします。トラックは輸送用のカーゴとトレーラータイプを有し、国土に縦横無尽に広がる舗装道路を走行します。また鉱業と建設現場向けのオフハイウェイトラックとして、車両総重量 12t から連結車両総重量 55t までの鉱山用、建設用、ロードダンプなど、

さまざまな用途に応じた車両を提供します。パーラト・ベンツは、その高い信頼性と性能により、現在では建設・機械業界で最も愛されるブランドとなっています。中型バスとしては、送迎バス、スクールバス、観光バスの 3 つのセグメントに製品を提供、人々の移動に貢献しています。デザインと機能を兼ねたパーラト・ベンツのバスは、インド全土の運送事業者様にとり最高の選択肢とすることができます。また大型バスは都市間移動におけるソリューションを提供し、エンドユーザー様の間で人気が高く、バスチケット予約アプリ「パーラト・ベンツ バス」も、プレミアムサービスとして提供しています。パーラト・ベンツはインドで 300 以上の販売・サービス拠点を展開、お客様のニーズに素早く対応します。各拠点では、最新機能を備えた整備工場でサービスを展開、インドの商用車部門に新たな変革をもたらしました。

生産

パーラト・ベンツのトラックとバスは、最先端の設備を有するオラガダム工場(チェンナイ市)で生産されています。同工場は、メルセデス・ベンツ、フレイトライナー、FUSO など、他のダイムラートラックブランドも生産し、世界約 60 カ国以上に輸出している実績ある拠点です。

パーラト・ベンツは 9 割超の現地調達で生産されており、真のインドブランドとすることができます。またオラガダム工場は製造拠点であると同時に、研究開発、実験、調達、購買、物流、マーケティングなどの機能を有するダイムラー・インド・コマーシャル・ビークルズ社(DICV)の本社でもあります。4 千人以上の正社員と 1 万人以上の契約社員がー丸となりお客様を成功に導くために日々前進しています。

ブランド

- 10 年間で 20 万台以上の車両がオラガダム工場から出荷されました(輸出を含む)。
- 市場では 250 台以上のトラックが走行距離 1 万 km、500 台以上のダンプが 2 万時間を超え、今もお力強く走り続けています。

強み

- インドで 320 馬力のトラックを展開、更に新たな領域に挑みます。
- 製品の安全性に妥協することなく工場で製造、試験された車両だけをお客様に提供します。
- インドで初めて EU が義務付ける ECE R29-03 のキャビン安全基準を満たした唯一の商用車メーカーです。





FUSO製品ラインアップ

大型トラック

GVW: 20 tons

スーパーグレート



FJ (海外専用)



FO (海外専用)



FZ (海外専用)



中型トラック

GVW: 8-20 tons

ファイター



FA/FI (海外専用)



小型トラック

GVW: 3.5-8 tons

キャンター



キャンター EX



電気小型トラック

eCanter



大型観光バス

エアロクイーン



エアロエース



大型路線バス

エアロスター



小型バス

ローザ



産業用エンジン

4M50-TLE3BA
98-129kW



6M60-TLE3BA
110-200kW



6M70-TLE3A





バーラト・ベンツ製品ラインアップ

カーゴタイプ 中型トラック



車両総重量：	10.7t - 14.5t
用途：	貨物輸送
エンジン：	直列 4 気筒
出力：	110kW
車軸 / 駆動軸：	4 × 2

カーゴタイプ 大型トラック



車両総重量：	16.2t - 47.5t
用途：	貨物輸送
エンジン：	直列 4 気筒、直列 6 気筒
出力：	125kW, 180kW, 210kW
車軸 / 駆動軸：	4 × 2, 6 × 2, 8 × 2, 10 × 2

鉱山用トラック



車両総重量：	13t - 35t
用途：	鉱山用
エンジン：	直列 6 気筒
出力：	125kW, 180kW, 210kW
車軸 / 駆動軸：	4 × 2, 6 × 4, 8 × 4

トラクター



車両連結総重量：	37.2t - 55t
用途：	産業用輸送、重量物輸送、特別用途輸送
エンジン：	直列 6 気筒
出力：	180kW, 210kW
車軸 / 駆動軸：	4 × 2, 6 × 4

ダンプ



車両総重量：	28t - 47.5t
用途：	建設用
エンジン：	直列 6 気筒
出力：	180kW, 210kW
車軸 / 駆動軸：	6 × 4, 8 × 2, 10 × 4

* その他タイムラー・バス車両やバスシャシー等も DICV にて製造しています。



海外事業拠点

三菱ふそうのトラック・バスは、世界のあらゆる地域で使われ、世界中の販売ネットワークから、お客様にベストな製品やサービス、エリア情報をお届けしています。

三菱ふそうでは、販売エリアに適した価格設定と効率の良い製品供給を行うため、可能な限り現地生産を推進してきました。現在では、パーツを輸出して現地で製品として組み立てるノックダウン生産の拠点を含め、全世界で17の生産拠点が存在しています。

生産拠点／研究開発拠点



MFTBC 本社
川崎製作所・技術センター
神奈川県川崎市

川崎製作所は三菱ふそう最大のトラック工場で、日本国内および輸出市場向けの小型・中型・大型トラックを製造しています。調達・物流・生産計画などの部門のほか、研究開発センターも併設されています。



中津工場
神奈川県愛甲郡愛川町

中津工場は、トランスミッションやパワートレインの製造と組立に特化しています。オートメーション化された最先端の製造過程により、パワートレインの信頼性と耐久性を高めています。製造サイクルは、近隣の川崎製作所と連係されています。



喜連川研究所
栃木県さくら市

喜連川研究所は、世界最大クラスの商用車の試験施設です。トラックとバスの試験を行う特別な施設やプロセス、スタッフを備えています。1980 年以来、全ての三菱ふそう車両のコンセプトの成熟と、製品の品質を守り続けています。



三菱ふそうバス製造株式会社
富山県富山市

富山県にある三菱ふそうバス製造株式会社（MFBM）は、日本最大レベルのバス工場の一つで、三菱ふそうのバス全体を製造しています。お客様のさまざまなニーズに応えるためカスタマイズにも特化しており、国内および世界に向けたバスを生産しています。



DICV
インド タミルナドゥ州 オラガダム

インドのチェンナイで近代的な施設を備える DICV 工場の約 160 ヘクタールの敷地内には、ダ임ラートラック社の標準に基づいた最新の試験コース、本社及び開発拠点がおり、FUSO、メルセデス・ベンツ、フレートライナーなどのブランド製品を世界約 60 カ国以上に輸出しています。